



INDEX

- A**
- AC (コマンドスイッチ) 5-9
 - Address Resolution Protocol
 - ARP を参照
 - ARP
 - 定義 1-4, 6-26
 - テーブル
 - アドレス解決 6-26
 - 管理 6-26
 - Auto-MDIX
 - 設定 10-18
 - 説明 10-17
- B**
- BackboneFast
 - イネーブル化 17-15
 - サポート 1-5
 - 説明 17-6
 - ディセーブル化 17-15
 - BPDU
 - errdisable ステート 17-3
 - RSTP フォーマット 16-12
 - フィルタリング 17-3
 - BPDU ガード
 - イネーブル化 17-12
 - サポート 1-5
 - 説明 17-3
 - ディセーブル化 17-12
 - BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 17-13
 - サポート 1-5
 - 説明 17-3
 - ディセーブル化 17-14
 - Bridge Protocol Data Unit
 - BPDU を参照
- C**
- CA の信頼点 8-38
 - 設定 8-41
 - 定義 8-38
 - Catalyst 2950 スイッチのアップグレード
 - 機能的な動作の非互換項目 C-6
 - 互換性のないコマンドのメッセージ C-1
 - コンフィギュレーション コマンドの違い C-1
 - 推奨 C-1
 - 設定の互換性の問題 C-1
 - CDP
 - LLDP による定義 21-2
 - イネーブル化およびディセーブル化
 - インターフェイス上 20-5
 - スイッチ上 20-4
 - 概要 20-2
 - 更新 20-3
 - サポート 1-4
 - スイッチクラスタの自動検出 5-4
 - 設定 20-3
 - 説明 20-2
 - タイマーおよびホールドタイム、設定 20-3
 - デフォルト設定 20-3
 - モニタ 20-6
 - ルーティング デバイスでのディセーブル化 20-4?20-5
 - CGMP
 - IGMP スヌーピングの学習方法 18-9
 - マルチキャスト グループへの加入 18-3
 - CipherSuite 8-40
 - CipherSuite 暗号化 8-40
 - Cisco 7960 IP Phone 14-2
 - Cisco Discovery Protocol
 - CDP を参照
 - Cisco IOS ファイル システム
 - IFS を参照
 - Cisco Network Assistant
 - Network Assistant を参照
 - CiscoWorks 2000 1-3, 26-5

- CIST リージョナルルート
 - MSTP を参照
 - CIST ルート
 - MSTP を参照
 - CLI
 - エラー メッセージ 2-5
 - クラスタの管理 5-14
 - コマンドモード 2-2
 - コマンド出力のフィルタリング 2-11
 - コマンドの no および default 形式 2-5
 - コマンドの省略 2-4
 - コンフィギュレーション ロギング 2-6
 - 説明 1-3
 - ヒストリ
 - コマンドの呼び出し 2-7
 - 説明 2-7
 - ディセーブル化 2-8
 - バッファ サイズの変更 2-7
 - ヘルプ、表示 2-4
 - 編集機能
 - イネーブル化およびディセーブル化 2-8
 - 画面幅よりも長いコマンドライン 2-10
 - キーストロークによる編集 2-9
 - CNS 1-4
 - Configuration Engine
 - ConfigID、DeviceID、ホスト名 4-4
 - イベント サービス 4-3
 - コンフィギュレーション サービス 4-3
 - 説明 4-2
 - 管理機能 1-4
 - 組み込み型エージェント
 - イベント エージェントのイネーブル化 4-9
 - コンフィギュレーション エージェントのイネーブル化 4-10
 - 自動設定のイネーブル化 4-8
 - 説明 4-6
 - config.text 3-13
 - Configuration Logger 25-11
 - configure terminal コマンド 10-6
 - config-vlan モード 2-3, 12-7
 - CoS
 - 入力キュー 27-15
 - レイヤ 2 フレーム 27-2
 - crashinfo ファイル 29-26
- D
- default コマンド 2-5
 - description コマンド 10-19
 - DHCP ベースの自動設定
 - BOOTP との関係 3-4
 - 概要 3-4
 - クライアント要求のメッセージ交換 3-4
 - サポート 1-4
 - 設定
 - DNS 3-7
 - TFTP サーバ 3-6
 - クライアント側 3-4
 - サーバ側 3-5
 - リレー デバイス 3-7
 - リース オプション
 - IP アドレス情報 3-5
 - コンフィギュレーション ファイルの受信 3-6
 - リレー サポート 1-4
 - 例 3-9
 - DiffServ アーキテクチャ、QoS 27-2
 - DNS
 - DHCP ベースの自動設定 3-7
 - 概要 6-16
 - サポート 1-4
 - 設定 6-16
 - 設定の表示 6-17
 - デフォルト設定 6-16
 - DoS 攻撃 19-2
 - DTP 1-5, 12-16
 - dynamic auto トランキング モード 12-16
 - dynamic desirable トランキング モード 12-16
 - Dynamic Host Configuration Protocol
 - DHCP ベースの自動設定を参照
 - Dynamic Trunking Protocol
 - DTP を参照
- E
- errdisable ステート、BPDU 17-3
 - EtherChannel
 - IEEE 802.3ad、説明 28-6
 - LACP
 - システム プライオリティ 28-16
 - ステータスの表示 28-18

- 説明 28-6
- 他の機能との相互作用 28-6
- ポート プライオリティ 28-16
- ホットスタンバイ ポート 28-15
- モード 28-6
- PAgP**
- Catalyst 1900 との互換性 28-14
- 学習方式およびプライオリティの設定 28-14
- サポート 1-3
- 集約ポート ラーナー 28-14
- ステータスの表示 28-18
- 説明 28-4
- 他の機能との相互作用 28-5
- モード 28-5
- サポート 1-3
- 自動作成 28-4, 28-6
- ステータスの表示 28-18
- 設定時の注意事項 28-10
- 説明 28-2
- 相互作用
 - STP 28-10
 - VLAN 28-10
- チャンネル グループ
 - 番号 28-3
 - 物理インターフェイスと論理インターフェイスのバインド 28-3
- デフォルト設定 28-9
- 転送方式 28-7, 28-13
- ポート グループ 10-4
- ポートチャンネルインターフェイス
 - 説明 28-3
 - 番号 28-3
- レイヤ 2 インターフェイスの設定 28-11
- ロードバランシング 28-7, 28-13
- EtherChannel ガード**
- イネーブル化 17-15
- 説明 17-8
- ディセーブル化 17-15
- Express Setup** 1-1
 - 『Getting Started Guide』も参照
- Extensible Authentication Protocol over LAN** 9-2
- F**
- fa0 インターフェイス 1-4
- FTP**
- MIB ファイルへのアクセス A-3
- イメージファイル
 - アップロード B-30
 - 準備、サーバ B-27
 - ダウンロード B-28
 - 古いイメージの削除 B-29
- コンフィギュレーション ファイル
 - アップロード B-15
 - 概要 B-13
 - 準備、サーバ B-14
 - ダウンロード B-14
- G**
- get-bulk-request 動作 26-4
- get-next-request 動作 26-4, 26-5
- get-request 動作 26-4, 26-5
- get-response 動作 26-4
- GUI**
- デバイス マネージャおよび Network Assistant を参照
- H**
- Hello タイム
 - MSTP 16-23
 - STP 15-21
- HP OpenView** 1-3
- HSRP**
- クラスタ スタンバイ グループの考慮事項 5-10
- クラスタ設定の自動復旧 5-11
- クラスタ、クラスタ スタンバイ グループ、およびスタンバイ コマンド スイッチも参照
- HTTPS** 8-38
- 自己署名証明書 8-39
- 設定 8-42
- I**
- ICMP**
- time-to-live-exceeded メッセージ 29-19
- traceroute 29-19
- ICMP ping**
- 概要 29-15
- 実行 29-15

- IDS 装置
 - 入力 SPAN 23-12
- IEEE 802.1D
 - STP を参照
- IEEE 802.1p 14-2
- IEEE 802.1Q
 - カプセル化 12-16
 - 設定に関する制約 12-17
 - タグなしトラフィック用のネイティブ VLAN 12-22
 - トランク ポート 10-3
- IEEE 802.1s
 - MSTP を参照
- IEEE 802.1w
 - RSTP を参照
- IEEE 802.1x
 - ポートベース認証を参照
- IEEE 802.3ad
 - EtherChannel を参照
- IEEE 802.3x フロー制御 10-16
- ifIndex 値、SNMP 26-6
- IFS 1-4
- IGMP
 - Join メッセージ 18-3
 - クエリー 18-4
 - サポート 1-3
 - サポート対象のバージョン 18-3
 - 即時脱退、イネーブル化 18-11
 - 脱退タイマーの設定
 - イネーブル化 18-11
 - 説明 18-6
 - マルチキャスト グループからの脱退 18-5
 - マルチキャスト グループへの加入 18-3
 - マルチキャスト トラフィックのフラッドイング
 - インターフェイスでディセーブル 18-13
 - クエリー送信要求 18-13
 - グローバル Leave 18-13
 - 時間の制御 18-12
 - フラッドイング モードからの回復 18-13
 - レポートの抑制
 - 説明 18-6
 - ディセーブル化 18-16
- IGMP グループ
 - 最大数の設定 18-22
 - フィルタリングの設定 18-23
- IGMP スヌーピング
 - VLAN 設定 18-8
 - アドレス エイリアス 18-2
 - イネーブル化およびディセーブル化 18-7
 - クエリア
 - 設定 18-14
 - 設定時の注意事項 18-14
 - グローバル コンフィギュレーション 18-7
 - サポート 1-3
 - サポート対象のバージョン 18-3
 - 設定 18-7
 - 即時脱退 18-5
 - 定義 18-2
 - デフォルト設定 18-7
 - 方法 18-8
 - モニタ 18-17
- IGMP スロットリング
 - 設定 18-23
 - 説明 18-19
 - デフォルト設定 18-20
 - 表示 18-24
- IGMP 即時脱退
 - イネーブル化 18-11
 - 設定時の注意事項 18-11
 - 説明 18-5
- IGMP フィルタリング
 - サポート 1-3
 - 設定 18-20
 - 説明 18-19
 - デフォルト設定 18-20
 - モニタ 18-24
- IGMP プロファイル
 - コンフィギュレーション モード 18-20
 - 設定 18-20
 - 適用 18-21
- interface range macro コマンド 10-9
- interface コマンド 10-6
- ip igmp profile コマンド 18-20
- IP Phone
 - QoS 14-2
 - 設定 14-5
- IP traceroute
 - 概要 29-19
 - 実行 29-19
- IP アドレス
 - IP 情報も参照

- クラスタ アクセス 5-2
- 検出 6-26
- 候補またはメンバー 5-3, 5-11
- コマンドスイッチ 5-3, 5-9, 5-11
- 冗長クラスタ 5-9
- スタンバイ コマンドスイッチ 5-9, 5-11
- IP 情報
 - デフォルト設定 3-3
 - 割り当て
 - DHCP ベースの自動設定の使用 3-4
 - 手動 3-10
- J
- Join メッセージ、IGMP 18-3
- L
- LACP
 - EtherChannel を参照
- LDAP 4-3
- LED、スイッチ
 - ハードウェア インストレーション ガイドを参照
- Lightweight Directory Access Protocol
 - LDAP を参照
- Link Aggregation Control Protocol
 - EtherChannel を参照
- LLDP
 - 概要 21-2
 - サポート対象 TLV 21-2
 - スイッチ スタックの考慮事項 21-2
 - 設定 21-3
 - デフォルト設定 21-3
 - 特性 21-3
 - タイマーおよびホールドタイム、設定 21-3
 - ディセーブル化およびイネーブル化
 - インターフェイス上 21-5
 - グローバル 21-4
 - モニタおよびメンテナンス 21-6
- LRE プロファイル、スイッチ クラスタの考慮事項 5-13
- M
- MAC アドレス
 - VLAN との対応付け 6-21
- アドレス テーブルの作成 6-20
- エージング タイム 6-21
- 検出 6-26
- スタティック
 - 許可 6-25
 - 削除 6-24
 - 追加 6-24
 - 特性 6-24
 - 廃棄 6-25
- ダイナミック
 - 削除 6-22
 - ラーニング 6-20
- デフォルト設定 6-21
- 表示 6-26
- MAC アドレス通知、サポート 1-7
- MAC アドレスと VLAN のマッピング 12-26
- MIB
 - FTP によるファイルへのアクセス A-3
 - SNMP との相互作用 26-5
 - 概要 26-2
 - サポート A-1
 - ファイルの位置 A-3
- MSTP
 - BPDU ガード
 - イネーブル化 17-12
 - 説明 17-3
 - BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 17-13
 - 説明 17-3
 - CIST リージョナル ルート 16-3
 - CIST ルート 16-5
 - CIST、説明 16-3
 - CST
 - 定義 16-3
 - リージョン間の動作 16-3
 - EtherChannel ガード
 - イネーブル化 17-15
 - 説明 17-8
 - IEEE 802.1D とのインターオペラビリティ
 - 移行プロセスの再起動 16-26
 - 説明 16-8
 - IEEE 802.1s
 - 実装 16-6
 - ポートの役割名の変更 16-6
 - 用語 16-5

- IST
 - 定義 16-2
 - マスター 16-3
 - リージョン内の動作 16-3
 - MST リージョン
 - CIST 16-3
 - IST 16-2
 - サポートできるスパニングツリー インスタンス 16-2
 - 設定 16-16
 - 説明 16-2
 - ホップ カウント メカニズム 16-5
 - PortFast
 - イネーブル化 17-11
 - 説明 17-2
 - PortFast 対応ポートのシャットダウン 17-3
 - VLAN と MST インスタンスのマッピング 16-17
 - インターフェイス ステート、ブロッキングから
フォワーディング 17-2
 - オプション機能のデフォルト設定 17-10
 - 概要 16-2
 - 拡張システム ID
 - 異常動作 16-18
 - セカンダリ ルート スイッチへの影響 16-19
 - ルート スイッチへの影響 16-18
 - 境界ポート
 - 設定時の注意事項 16-16
 - 説明 16-6
 - サポートされるインスタンス 15-10
 - サポートされるオプション機能 1-5
 - ステータスの表示 16-27
 - ステータス、表示 16-27
 - 設定
 - Hello タイム 16-23
 - MST リージョン 16-16
 - 高速コンバージェンス用リンク タイプ 16-25
 - 最大エージング タイム 16-24
 - 最大ホップ カウント 16-25
 - スイッチ プライオリティ 16-22
 - セカンダリ ルート スイッチ 16-19
 - 転送遅延時間 16-24
 - ネイバ タイプ 16-26
 - パス コスト 16-21
 - ポート プライオリティ 16-20
 - ルート スイッチ 16-18
 - 設定時の注意事項 16-16, 17-10
 - デフォルト設定 16-15
 - モード間のインターオペラビリティと下位互換性 15-10
 - モードのイネーブル化 16-16
 - ルート ガード
 - イネーブル化 17-16
 - 説明 17-8
 - ルート スイッチ
 - 異常動作 16-18
 - 拡張システム ID の影響 16-18
 - 設定 16-18
 - ルート スイッチとしての選択防止 17-8
 - ループ ガード
 - イネーブル化 17-17
 - 説明 17-9
- N**
- NameSpace Mapper
 - NSM を参照
 - Network Assistant
 - イメージファイルのダウンロード 1-2
 - ウィザード 1-2
 - ガイドモード 1-2
 - 管理オプション 1-2
 - 機能 1-1
 - スイッチのアップグレード B-21
 - 説明 1-3
 - 要件 xxvii
 - Network Time Protocol
 - NTP を参照
 - no 形式 2-5
 - NSM 4-3
 - NTP
 - アクセスの制限
 - アクセス グループの作成 6-9
 - インターフェイスごとの NTP サービスのディ
セーブル化 6-10
 - アソシエーション
 - サーバ 6-6
 - 定義 6-2
 - 認証 6-5
 - ピア 6-6

- ブロードキャスト メッセージのイネーブル化
 - 6-7
 - 概要 6-2
 - サポート 1-4
 - 時刻
 - サービス 6-2
 - 同期化 6-2
 - ストラタム 6-2
 - 設定の表示 6-11
 - 送信元 IP アドレス、設定 6-10
 - デバイスの同期化 6-6
 - デフォルト設定 6-4
- P**
- PAgP
 - EtherChannel を参照
 - PC (パッシブ コマンド スイッチ) 5-9
 - Per-VLAN Spanning-Tree plus
 - PVST+ を参照
 - PIM/DVMRP、スヌーピング方法 18-8
 - ping
 - 概要 29-15
 - 実行 29-15
 - 文字出力の説明 29-16
 - PortFast
 - イネーブル化 17-11
 - サポート 1-5
 - 説明 17-2
 - モード、スパニングツリー 12-27
 - PVST+
 - IEEE 802.1Q トランクのインターオペラビリティ 15-11
 - サポートされるインスタンス 15-10
 - 説明 15-9
- Q**
- QoS
 - MQC コマンド 27-1
 - QoS ラベル、定義 27-4
 - 概要 27-2
 - 書き換え 27-9
 - 基本モデル 27-3
 - キュー
 - WTD、説明 27-5
 - 位置 27-5
 - 出力キューの特性の設定 27-17
 - 入力キューの特性の設定 27-15
 - ハイ プライオリティ (緊急) 27-19
 - グローバルなイネーブル化 27-12
 - サポート 1-7
 - 出力キュー
 - WTD、説明 27-7, 27-9
 - 説明 27-4
 - バッファ割り当て方式、説明 27-9
 - フローチャート 27-8
 - 信頼状態
 - 説明 27-4
 - ドメイン内 27-12
 - 設定
 - 出力キューの特性 27-17
 - デフォルトのポート CoS 値 27-14
 - ドメイン内のポートの信頼状態 27-12
 - トランスペアレントな DSCP 27-14
 - 入力キューの特性 27-15
 - デフォルトの標準設定 27-10
 - トランスペアレントな DSCP 27-14
 - 入力キュー
 - 説明 27-4
 - プライオリティ キューの設定 27-16
 - フローチャート 27-6
 - パケットの変更 27-9
 - フローチャート
 - 出力ポートのキューイングおよびスケジューリング 27-8
 - 入力ポートのキューイングおよびスケジューリング 27-6
 - 分類
 - 信頼性のある CoS 値、説明 27-4
 - 定義 27-4
 - 転送処理 27-3
 - トランスペアレントな DSCP、説明 27-14
 - 非 IP トラフィックのオプション 27-4
 - フレームおよびパケット 27-3
 - マッピング テーブル
 - 表示 27-19
 - QoS の CoS 出力キューしきい値マップ 27-9
 - QoS の CoS 入力キューしきい値マップ 27-7
 - QoS の緊急キュー 27-19

R

RADIUS

- AAA サーバ グループの定義 8-25
 - アトリビュート
 - ベンダー固有 8-29
 - ベンダー独自仕様 8-31
 - 概要 8-18
 - クラスタ 5-13
 - サーバの識別 8-20
 - サポート 1-6
 - 推奨するネットワーク環境 8-18
 - 設定
 - アカウントティング 8-28
 - 許可 8-27
 - 通信、グローバル 8-21, 8-29
 - 通信、サーバ単位 8-20, 8-21
 - 認証 8-23
 - 複数の UDP ポート 8-21
 - 設定の表示 8-31
 - デフォルト設定 8-20
 - 動作 8-19
 - 方式リスト、定義 8-20
 - ユーザがアクセスしたサービスの追跡 8-28
 - ユーザへのサービスの制限 8-27
- Rapid Per-VLAN Spanning-Tree plus
- Rapid PVST+ を参照
- Rapid PVST+
- IEEE 802.1Q トランクのインターオペラビリティ 15-11
 - サポートされるインスタンス 15-10
 - 説明 15-9
- Rapid Spanning-Tree Protocol
- RSTP を参照
- rcommand コマンド 5-14
- RCP
- イメージファイル
 - アップロード B-34
 - 準備、サーバ B-31
 - ダウンロード B-32
 - 古いイメージの削除 B-34
 - コンフィギュレーション ファイル
 - アップロード B-19
 - 概要 B-16
 - 準備、サーバ B-17
 - ダウンロード B-18

Remote Authentication Dial-In User Service

RADIUS を参照

Remote Copy Protocol

RCP を参照

Remote Network Monitoring

RMON を参照

RFC

- 1157、SNMPv1 26-2
- 1305、NTP 6-2
- 1757、RMON 24-2
- 1901、SNMPv2C 26-2
- 1902 ~ 1907、SNMPv2 26-2
- 1112、IP マルチキャストおよび IGMP 18-2
- 2236、IP マルチキャストおよび IGMP 18-2
- 2273 ~ 2275、SNMPv3 26-2

RMON

- アラームおよびイベントのイネーブル化 24-3
- 概要 24-2
- サポート 1-7
- サポート対象グループ 24-2
- ステータスの表示 24-6
- デフォルト設定 24-3
- 統計情報
 - イーサネット グループの収集 24-5
 - グループ ヒストリの収集 24-4

RSPAN

- VLAN ベース 23-5
- 宛先ポート 23-5
- 概要 23-2
- 受信トラフィック 23-3
- ステータスの表示 23-15
- セッション
 - 定義 23-3
- 送信トラフィック 23-3
- 送信元ポート 23-4
- 他の機能との相互作用 23-6
- デフォルト設定 23-8
- モニタ側ポート 23-5
- モニタ対象ポート 23-4

RSTP

BPDU

- 処理 16-13
- フォーマット 16-12
- IEEE 802.1D とのインターオペラビリティ
 - 移行プロセスの再起動 16-26
 - 説明 16-8

- トポロジーの変更 16-13
 - MSTP も参照
 - アクティブ トポロジー 16-9
 - 概要 16-9
 - 高速コンバージェンス
 - エッジポートおよび PortFast 16-10
 - 説明 16-10
 - ポイントツーポイントリンク 16-10, 16-25
 - ルートポート 16-10
 - 指定スイッチ、定義 16-9
 - 指定ポート、定義 16-9
 - 提案 / 合意ハンドシェイク プロセス 16-10
 - ポートの役割
 - 説明 16-9
 - 同期化 16-11
 - ルートポート、定義 16-9
- S**
- SC (スタンバイ コマンド スイッチ) 5-9
 - SDM
 - 説明 7-1
 - テンプレート
 - 数 7-2
 - 設定 7-3
 - SDM テンプレート
 - 設定 7-3
 - 設定時の注意事項 7-3
 - タイプ 7-2
 - Secure Shell
 - SSH を参照
 - Secure Socket Layer
 - SSL も参照
 - set-request 動作 26-5
 - SFP
 - ステータスのモニタ 10-22, 29-14
 - ステータス、表示 29-14
 - セキュリティおよび ID 29-14
 - Shaped Round Robin
 - SRR を参照
 - show cdp traffic コマンド 20-6
 - show cluster members コマンド 5-14
 - show configuration コマンド 10-19
 - show forward コマンド 29-24
 - show interfaces コマンド 10-15, 10-19
 - show lldp traffic コマンド 21-6
 - show platform forward コマンド 29-24
 - show running-config コマンド
 - インターフェイスの記述の追加 10-19
 - show および more コマンド出力のフィルタリング 2-11
 - Simple Network Management Protocol
 - SNMP を参照
 - SmartPort マクロ
 - Web サイト 11-2
 - グローバルパラメータ値の適用 11-5, 11-7
 - 作成 11-4
 - シスコのデフォルト マクロ 11-7
 - 設定時の注意事項 11-3
 - 定義 11-2
 - デフォルト設定 11-3
 - トレース 11-3
 - パラメータ値の適用 11-6, 11-7
 - 表示 11-8
 - マクロの適用 11-5
 - SNAP 20-2
 - SNMP
 - ifIndex 値 26-6
 - MIB
 - 位置 A-3
 - サポート A-1
 - MIB 変数のアクセス 26-5
 - NMS に送信される Syslog メッセージの制限 25-10
 - TFTP サーバによるアクセスの制限 26-16
 - エージェント
 - 説明 26-4
 - ディセーブル化 26-8
 - エンジン ID 26-8
 - 概要 26-2, 26-5
 - クラスタ 5-12
 - クラスタの管理 5-15
 - グループ 26-7, 26-10
 - コミュニティ ストリング
 - 概要 26-4
 - クラスタ スイッチ 26-5
 - 設定 26-8
 - サポート対象のバージョン 26-2
 - システム コンタクトおよびロケーション 26-16
 - 情報
 - traps キーワード 26-12
 - イネーブル化 26-15

- 説明 26-5
- ディセーブル化 26-16
- トラップとの相違 26-6
- ステータス、表示 26-18
- セキュリティ レベル 26-3
- 設定例 26-17
- 帯域内管理 1-4
- 通知 26-5
- デフォルト設定 26-7
- トラップ
 - MAC アドレス通知のイネーブル化 6-22
 - イネーブル化 26-12
 - 概要 26-2, 26-5
 - 情報との相違 26-6
 - 説明 26-4, 26-5
 - タイプ 26-12
 - ディセーブル化 26-16
 - トラップ マネージャ、設定 26-14
 - 認証レベル 26-11
 - ホスト 26-7
 - マネージャ機能 1-3, 26-4
 - ユーザ 26-7, 26-10
- SNMPv1 26-3
- SNMPv2C 26-3
- SNMPv3 26-3
- SPAN
 - VLAN ベース 23-5
 - 宛先ポート 23-5
 - 概要 1-7, 23-2
 - 受信トラフィック 23-3
 - ステータスの表示 23-15
 - セッション
 - SPAN 送信元トラフィックの特定の VLAN への制限 23-14
 - 宛先ポートの削除 23-11
 - 作成 23-9
 - 着信トラフィックのイネーブル化 23-12
 - 定義 23-3
 - 入力転送の設定 23-13
 - モニタ対象ポートの指定 23-9
 - 設定時の注意事項 23-8
 - 送信トラフィック 23-3
 - 送信元ポート 23-4
 - 他の機能との相互作用 23-6
 - デフォルト設定 23-8
 - ポート、制約 19-11
 - モニタ側ポート 23-5
 - モニタ対象ポート 23-4
- SPAN トラフィック 23-3
- SRR
 - サポート 1-7
- SSH
 - 暗号化ソフトウェア イメージ 8-33
 - 暗号化方式 8-33
 - 設定 8-34
 - 説明 1-4, 8-33
 - ユーザ認証方式、サポートされている 8-33
- SSL
 - 暗号化ソフトウェア イメージ 8-38
 - セキュア HTTP クライアントの設定 8-43
 - セキュア HTTP サーバの設定 8-42
 - 設定時の注意事項 8-41
 - 説明 8-38
 - モニタ 8-44
- SSL による HTTP
 - HTTPS を参照
- STP
 - BackboneFast
 - イネーブル化 17-15
 - 説明 17-6
 - ディセーブル化 17-15
 - BPDU ガード
 - イネーブル化 17-12
 - 説明 17-3
 - ディセーブル化 17-12
 - BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 17-13
 - 説明 17-3
 - ディセーブル化 17-14
 - BPDU メッセージ交換 15-3
 - EtherChannel ガード
 - イネーブル化 17-15
 - 説明 17-8
 - ディセーブル化 17-15
 - IEEE 802.1t および VLAN ID 15-4
 - IEEE 802.1D およびブリッジ ID 15-4
 - IEEE 802.1D およびマルチキャスト アドレス 15-9
 - IEEE 802.1Q トランクに関する制限事項 15-11
 - PortFast
 - イネーブル化 17-11
 - 説明 17-2

- PortFast 対応ポートのシャットダウン 17-3
 - UplinkFast
 - イネーブル化 17-14
 - 説明 17-4
 - インターフェイス ステート
 - 概要 15-5
 - ディセーブル 15-7
 - フォワーディング 15-6, 15-7
 - ブロッキング 15-6
 - ラーニング 15-7
 - リスニング 15-6
 - インターフェイス ステート、ブロッキングから
フォワーディング 17-2
 - オプション機能のデフォルト設定 17-10
 - 下位 BPDU 15-4
 - 概要 15-2
 - カウンタ、クリア 15-23
 - 拡張システム ID
 - 異常動作 15-16
 - 概要 15-4
 - セカンダリ ルート スイッチへの影響
15-17
 - ルート スイッチへの影響 15-15
 - 間接リンク障害の検出 17-6
 - サポートされている機能 1-5
 - サポートされるインスタンス 15-10
 - サポートされるオプション機能 1-5
 - サポートされるプロトコル 15-9
 - サポートされるモード 15-9
 - 指定スイッチ、定義 15-4
 - 指定ポート、定義 15-4
 - 冗長接続 15-8
 - ステータスの表示 15-23
 - ステータス、表示 15-23
 - 設定
 - Hello タイム 15-21
 - 最大エージングタイム 15-22
 - スイッチ プライオリティ 15-20
 - スパニングツリー モード 15-14
 - セカンダリ ルート スイッチ 15-17
 - 転送遅延時間 15-22
 - 転送保留カウンタ 15-23
 - パス コスト 15-19
 - ポート プライオリティ 15-18
 - ルート スイッチ 15-15
 - 設定時の注意事項 15-13, 17-10
 - タイマー、説明 15-21
 - ディセーブル化 15-15
 - デフォルト設定 15-12
 - パス コスト 12-24, 12-25
 - 負荷分散
 - 概要 12-22
 - パス コストの使用 12-24
 - ポート プライオリティの使用 12-23
 - ポート プライオリティ 12-23
 - マルチキャスト アドレス、作用 15-9
 - モード間のインターオペラビリティと下位互換性
15-10
 - 優位 BPDU 15-3
 - ルート ガード
 - イネーブル化 17-16
 - 説明 17-8
 - ルート スイッチ
 - 異常動作 15-16
 - 拡張システム ID の影響 15-4, 15-15
 - 設定 15-15
 - 選定 15-4
 - ルート スイッチとしての選択防止 17-8
 - ルート ポート選択の高速化 17-4
 - ルート ポート、定義 15-4
 - ループ ガード
 - イネーブル化 17-17
 - 説明 17-9
 - SunNet Manager 1-3
 - Switch Database Management
 - SDM を参照
 - Switched Port Analyzer
 - SPAN を参照
 - switchport block multicast コマンド 19-7
 - switchport block unicast コマンド 19-7
 - switchport protected コマンド 19-6
 - Syslog
 - システム メッセージ ログギングを参照
- T
- TACACS+
 - アカウントिंग、定義 8-11
 - 概要 8-10
 - 許可、定義 8-11
 - クラスタ 5-13
 - サーバの識別 8-13
 - サポート 1-6

- 設定
 - アカウントिंग 8-17
 - 許可 8-16
 - 認証鍵 8-13
 - ログイン認証 8-14
- 設定の表示 8-17
- デフォルト設定 8-13
- 動作 8-12
- 認証、定義 8-11
- ユーザがアクセスしたサービスの追跡 8-17
- ユーザへのサービスの制限 8-16
- tar ファイル
 - イメージファイル形式 B-22
 - 作成 B-6
 - 抽出 B-7
 - 内容表示 B-7
- TDR 1-7
- Telnet
 - 管理インターフェイスのアクセス 2-12
 - 接続数 1-4
 - パスワードの設定 8-6
- Terminal Access Controller Access Control System Plus
 - TACACS+ を参照
- TFTP
 - イメージファイル
 - アップロード B-25
 - 削除 B-25
 - 準備、サーバ B-23
 - ダウンロード B-24
 - コンフィギュレーション ファイル
 - アップロード B-12
 - 準備、サーバ B-11
 - ダウンロード B-12
 - サーバによるアクセスの制限 26-16
 - 自動設定の場合 3-6
 - ベース ディレクトリのコンフィギュレーション ファイル 3-6
- TFTP サーバ 1-4
- Time Domain Reflector
 - TDR を参照
- TLV
 - LLDP 21-2
 - 定義 21-2
- traceroute コマンド 29-19
 - IP traceroute も参照
- traceroute、レイヤ 2
 - 1 ポートに複数のデバイス 29-18
 - ARP 29-17
 - CDP 29-17
 - IP アドレスおよびサブネット 29-17
 - MAC アドレスと VLAN 29-17
 - 使用時の注意事項 29-17
 - 説明 29-17
 - ブロードキャストトラフィック 29-17
 - マルチキャストトラフィック 29-17
 - ユニキャストトラフィック 29-17
- U
 - UDLD
 - イネーブル化
 - インターフェイス単位 22-6
 - グローバル 22-5
 - インターフェイスのリセット 22-7
 - エコーによる検出メカニズム 22-3
 - 概要 22-2
 - サポート 1-5
 - ステータス、表示 22-8
 - 設定時の注意事項 22-5
 - ディセーブル化
 - インターフェイス単位 22-6
 - グローバル 22-6
 - 光ファイバインターフェイス 22-6
 - デフォルト設定 22-5
 - ネイバデータベース 22-3
 - リンク検出メカニズム 22-2
 - UDLD によってディセーブルにされたインターフェイスのリセット 22-7
 - UniDirectional Link Detection プロトコル
 - UDLD を参照
 - UNIX Syslog サーバ
 - サポートされているファシリティ 25-14
 - デーモンの設定 25-12
 - メッセージロギングの設定 25-13
 - UplinkFast
 - イネーブル化 17-14
 - サポート 1-5
 - 説明 17-4
 - ディセーブル化 17-15

- V
- VLAN
- config-vlan モードでの作成 12-9
 - ID 1006 ~ 4094 の設定 12-13
 - SPAN による送信元トラフィックの制限 23-14
 - STP および IEEE 802.1Q トランク 15-11
 - VLAN コンフィギュレーション モードでの作成 12-10
 - VLAN データベースへの追加 12-9
 - VTP モード 13-3
 - 拡張範囲 12-1, 12-13
 - 機能 1-5
 - 削除 12-11
 - サポート 12-3
 - サポートされる数 1-5
 - 図 12-2
 - スタティック アクセス ポート 12-12
 - スパンニングツリー インスタンス 12-3, 12-7, 12-14
 - 設定 12-1
 - 設定オプション 12-7
 - 設定時の注意事項、拡張範囲 VLAN 12-13
 - 設定時の注意事項、標準範囲 VLAN 12-6
 - 説明 10-2, 12-2
 - 相互間トラフィック 12-3
 - ダイナミック アドレスのエージング タイム 15-9
 - 追加 12-9
 - デフォルト設定 12-8
 - トークンリング 12-6
 - トランクでの許可 VLAN 12-19
 - ネイティブ、設定 12-22
 - パラメータ 12-5
 - 表示 12-15
 - 標準範囲 12-1, 12-5
 - 変更 12-9
 - ポート メンバーシップ モード 12-3
 - VLAN 1 最小化 12-20
 - VLAN 1、トランク ポートでのディセーブル化 12-20
 - vlan database コマンド 12-7
 - VLAN ID、検出 6-26
 - VLAN Query Protocol
 - VQP を参照
 - VLAN Trunking Protocol
 - VTP を参照
 - VLAN 管理ドメイン 13-2
 - vlan グローバル コンフィギュレーション コマンド 12-7
 - VLAN コンフィギュレーション モード 2-3, 12-7
 - VLAN 設定
 - 起動時 12-8
 - 保存 12-8
 - VLAN データベース
 - VLAN 設定、保存 12-8
 - VTP 13-1
 - 格納された VLAN 12-5
 - スタートアップ コンフィギュレーション ファイル 12-8
 - VLAN トランク 12-16
 - VLAN の削除 12-11
 - VLAN フィルタリング、SPAN 23-5
 - VLAN マネジメント ポリシー サーバ
 - VMPS を参照
 - VLAN メンバーシップ
 - 確認 12-29
 - モード 12-3
 - VLAN 割り当て応答、VMPS 12-26
 - vlan.dat ファイル 12-5
 - VMPS
 - MAC アドレスと VLAN のマッピング 12-26
 - 管理 12-31
 - サーバアドレスの入力 12-28
 - 再確認インターバル、変更 12-30
 - 再試行回数、変更 12-30
 - 設定時の注意事項 12-27
 - 設定例 12-32
 - 説明 12-26
 - ダイナミック ポート メンバーシップ
 - 再確認 12-30
 - 説明 12-27
 - トラブルシューティング 12-31
 - デフォルト設定 12-27
 - メンバーシップの再確認 12-29
 - モニタ 12-31
 - Voice over IP 14-2
 - VQP 1-5, 12-26
 - VTP
 - アドバタイズ 12-18, 13-4
 - 拡張範囲 VLAN 13-2
 - クライアント モード、設定 13-12
 - コンフィギュレーション リビジョン番号
 - 注意事項 13-16

- リセット 13-17
 - コンフィギュレーション モード オプション 13-8
 - サーバ モード、設定 13-11
 - サポート 1-5
 - 使用方法 13-2
 - 整合性検査 13-5
 - 設定
 - VLAN コンフィギュレーション モード 13-9
 - クライアント モード 13-12
 - グローバル コンフィギュレーション モード 13-8
 - サーバ モード 13-11
 - 注意事項 13-9
 - 特権 EXEC モード 13-8
 - トランスペアレント モード 13-13
 - 保存 13-9
 - 要件 13-10
 - 設定要件 13-10
 - 説明 13-2
 - ディセーブル化 13-13
 - デフォルト設定 13-8
 - 統計情報 13-17
 - トークンリング サポート 13-5
 - ドメイン 13-2
 - ドメインへのクライアントの追加 13-16
 - ドメイン名 13-9
 - トランスペアレント モード、設定 13-13
 - バージョン 1 13-5
 - バージョン 2
 - イネーブル化 13-14
 - 概要 13-5
 - 設定時の注意事項 13-10
 - ディセーブル化 13-15
 - バージョン、注意事項 13-10
 - パスワード 13-10
 - 標準範囲 VLAN 13-2
 - プルーニング
 - イネーブル化 13-15
 - 概要 13-5
 - サポート 1-5
 - ディセーブル化 13-16
 - 例 13-6
 - プルーニング適格リスト、変更 12-21
 - モード
 - クライアント 13-3, 13-12
 - サーバ 13-3, 13-11
 - トランスペアレント 13-4, 13-13
 - 変更 13-3
 - モニタ 13-17
 - VTP バージョン 2 における整合性検査 13-5
- ## W
- Weighted Tail Drop
 - WTD を参照
 - WTD
 - サポート 1-7
 - 説明 27-5
- ## X
- XMODEM プロトコル 29-2
- ## あ
- アカウントティング
 - IEEE 802.1x 9-8, 9-24
 - RADIUS 8-28
 - TACACS+ 8-11, 8-17
 - アクセス ポート
 - スイッチ クラスタ 5-8
 - アクセス ポート、定義 10-3
 - アクセス拒否応答、VMPS 12-26
 - アクセスの制限
 - NTP サービス 6-8
 - RADIUS 8-18
 - TACACS+ 8-10
 - 概要 8-1
 - パスワードおよび権限レベル 8-2
 - アクセス方法
 - クラスタ、スイッチ 5-11
 - コマンド スイッチ 5-9
 - スイッチ クラスタ 5-11
 - メンバー スイッチ 5-11
 - アップグレード情報
 - リリース ノート を参照
 - アップロード
 - イメージファイル
 - FTP の使用 B-30
 - RCP の使用 B-34

- TFTP の使用 B-25
 - 準備 B-23, B-27, B-31
 - 目的 B-21
 - コンフィギュレーション ファイル
 - FTP の使用 B-15
 - RCP の使用 B-19
 - TFTP の使用 B-12
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - 宛先 IP アドレスベース転送、EtherChannel 28-7
 - 宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel 28-7
 - アドバタイズ
 - CDP 20-2
 - LLDP 21-2
 - VTP 12-18, 13-3, 13-4
 - アトリビュート、RADIUS
 - ベンダー固有 8-29
 - ベンダー独自仕様 8-31
 - アドレス
 - MAC アドレス テーブルの表示 6-26
 - MAC、検出 6-26
 - スタティック
 - 追加および削除 6-24
 - 定義 6-20
 - ダイナミック
 - エージング タイムの短縮 15-9
 - エージング タイムの変更 6-21
 - 削除 6-22
 - 定義 6-20
 - デフォルトのエージング タイム 15-9
 - ラーニング 6-20
 - マルチキャスト、STP アドレス管理 15-9
 - アドレス エイリアス 18-2
 - アドレス解決 6-26
 - アベイラビリティ、機能 1-5
 - アラーム、RMON 24-3
 - 暗号化ソフトウェア イメージ
 - SSH 8-33
 - SSL 8-38
 - 安全なリモート接続 8-33
- い
- イーサネット VLAN
 - 追加 12-9
 - デフォルトおよび範囲 12-8
 - 変更 12-9
 - 一時的な自己署名証明書 8-39
 - イネーブル シークレット パスワード 8-3
 - イネーブル パスワード 8-3
 - イベント、RMON 24-3
 - インターフェイス
 - Auto-MDIX、設定 10-17
 - カウンタ、クリア 10-23
 - 管理 1-3
 - 記述 10-19
 - 記述、追加 10-19
 - 再起動 10-23
 - サポート 10-6
 - シャットダウン 10-23
 - 情報の表示 10-22
 - ステータス 10-22
 - 設定
 - 手順 10-6
 - 設定時の注意事項、デュプレックスおよび速度 10-14
 - 説明 10-19
 - 速度およびデュプレックス、設定 10-15
 - タイプ 10-2
 - デフォルト設定 10-11
 - 範囲 10-7
 - 番号 10-6
 - 物理的、識別 10-6
 - フロー制御 10-16
 - モニタ 10-22
 - 範囲マクロ 10-9
 - インターフェイス コンフィギュレーション モード 2-3
 - インターフェイス タイプ 10-6
 - インターフェイスでの shutdown コマンド 10-23
 - インターフェイスのクリア 10-23
- う
- ウィザード 1-2
- え
- 永続的な自己署名証明書 8-39
 - エージング タイム
 - MAC アドレス テーブル 6-21

- 最大
 - MSTP 用 16-24, 16-25
 - STP 15-22, 15-23
- 短縮
 - MSTP 用 16-24
 - STP 15-9, 15-22
- エージングタイム、短縮 15-9
- エラーメッセージ、コマンド入力時 2-5
- お
- オプション、管理 1-3
- 音声 VLAN
 - Cisco 7960 IP Phone、ポート接続 14-2
 - IP Phone の音声トラフィック、説明 14-3
 - IP Phone のデータトラフィック、説明 14-3
 - IP Phone への接続 14-5
 - 音声トラフィック用のポート設定
 - 802.1p プライオリティタグ付きフレーム 14-6
 - 802.1Q フレーム 14-5
 - 設定時の注意事項 14-4
 - 説明 14-2
 - デフォルト設定 14-4
 - 表示 14-7
- か
- ガイドモード 1-2
- 外部 VLAN
 - 音声 VLAN を参照
- 回復手順 29-1
- カウンタのクリア、インターフェイス 10-23
- 拡張システム ID
 - MSTP 16-18
 - STP 15-4, 15-15
- 拡張範囲 VLAN
 - 作成 12-14
 - 設定 12-13
 - 設定時の注意事項 12-13
 - 定義 12-1
- 環境変数、機能 3-16
- 間接リンク障害の検出、STP 17-6
- 管理 VLAN
 - 異なる管理 VLAN からの検出 5-7
 - スイッチクラスタの考慮事項 5-7
- 管理アクセス
 - 帯域外コンソールポート接続 1-4
 - 帯域内
 - CLI セッション 1-4
 - SNMP 1-4
 - デバイス マネージャ 1-4
 - ブラウザセッション 1-4
- 管理オプション
 - CLI 2-1
 - CNS 4-2
 - Network Assistant 1-2
 - 概要 1-3
 - クラスタ 1-2
- 管理の簡易性に関する機能 1-4
- 関連資料 xxvii
- き
- 機能、互換 19-11
- 許可
 - RADIUS 8-27
 - TACACS+ 8-11, 8-16
- 許可 VLAN リスト 12-19
- 許可ポート、IEEE 802.1x 9-6
- く
- クエリー送信要求、IGMP 18-13
- クエリー、IGMP 18-4
- クライアントモード、VTP 13-3
- クラスタスタンバイグループ
 - HSRP も参照
 - 仮想 IP アドレス 5-9
 - 考慮事項 5-10
 - 自動復旧 5-11
 - 定義 5-2
 - 要件 5-3
- クラスタ要件 xxvii
- クラスタ、スイッチ
 - LRE プロファイルの考慮事項 5-13
 - アクセス方法 5-11
 - 管理
 - CLI の使用 5-14
 - SNMP の使用 5-15
 - 機能 1-1

- 候補スイッチ、コマンドスイッチ、クラスタスタンバイグループ、メンバースイッチ、およびスタンバイコマンドスイッチも参照
- 互換 5-4
- 自動検出 5-4
- 自動復旧 5-8
- 説明 5-1
- プランニング 5-4
- プランニングの考慮事項
 - CLI 5-14
 - IP アドレス 5-11
 - LRE プロファイル 5-13
 - RADIUS 5-13
 - SNMP 5-12, 5-15
 - TACACS+ 5-13
 - 自動検出 5-4
 - 自動復旧 5-8
 - パスワード 5-12
 - ホスト名 5-12
- グローバル Leave、IGMP 18-13
- グローバル コンフィギュレーション モード 2-2
- クロック
 - システムクロックを参照
- け
- ケーブル、単一方向リンクのモニタ 22-2
- ゲスト VLAN と IEEE 802.1x 9-10
- 権限レベル
 - 回線に対するデフォルトの変更 8-9
 - 概要 8-2, 8-7
 - コマンドスイッチ 5-14
 - コマンドの設定 8-8
 - 終了 8-9
 - メンバースイッチとの対応 5-14
 - ログイン 8-9
- 検出、クラスタ
 - 自動検出を参照
- こ
- 構成例、ネットワーク 1-10
- 高速コンバージェンス 16-10
- 候補スイッチ
 - コマンドスイッチ、クラスタスタンバイグループ、およびメンバースイッチも参照
- 自動検出 5-4
- 定義 5-3
- 要件 5-3
- 互換、機能 19-11
- コマンド
 - no および default 2-5
 - 省略 2-4
- コマンドスイッチ
 - アクセス方法 5-9
 - アクティブ (AC) 5-9
 - 回復
 - コマンドスイッチの障害 5-9, 29-9
 - メンバースイッチとの接続 29-13
 - 交換
 - クラスタメンバー 29-9
 - 他のスイッチ 29-11
 - 候補スイッチ、クラスタスタンバイグループ、メンバースイッチ、およびスタンバイコマンドスイッチも参照
- 冗長 5-8
- スタンバイ (SC) 5-9
- 設定の矛盾 29-13
- 定義 5-2
- パスワード権限レベル 5-14
- パッシブ (PC) 5-9
- プライオリティ 5-9
- 要件 5-3
- コマンドモード 2-2
- コマンドの権限レベルの設定 8-8
- コマンドの省略 2-4
- コマンドライン インターフェイス
 - CLI を参照
- コミュニティ ストリング
 - SNMP 5-12
 - 概要 26-4
 - クラスタ 5-12
 - クラスタスイッチ 26-5
 - 設定 5-12, 26-8
- コンソールポート、接続 2-12
- コンフィギュレーション ファイル
 - DHCP による入手 3-8
 - TFTP サーバアクセスの制限 26-16
 - アップロード
 - FTP の使用 B-15
 - RCP の使用 B-19
 - TFTP の使用 B-12
 - 準備 B-11, B-14, B-17

- 目的 B-9
 - 格納されたコンフィギュレーションの削除 B-20
 - コピー時の無効な組み合わせ B-5
 - 作成および使用上の注意事項 B-9
 - システム コンタクトおよびロケーション 26-16
 - スタートアップ コンフィギュレーションの消去 B-20
 - 説明 B-9
 - タイプおよび場所 B-10
 - ダウンロード
 - FTP の使用 B-14
 - RCP の使用 B-18
 - TFTP の使用 B-12
 - 自動 3-13
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - テキスト エディタによる作成 B-10
 - デフォルトの名前 3-13
 - パスワード回復をディセーブルにする場合の考慮事項 8-5
 - ファイル名の指定 3-13
 - コンフィギュレーション ロギング 2-6
- さ**
- サーバ モード、VTP 13-3
 - サービス クラス
 - CoS を参照
 - サービス プロバイダー ネットワーク、MSTP および RSTP 16-1
 - サービス品質
 - QoS を参照
 - 再確認インターバル、VMPS、変更 12-30
 - 再試行回数、VMPS、変更 12-30
 - 最大エイジング タイム
 - MSTP 16-24
 - STP 15-22
 - 最大ホップ カウント、MSTP 16-25
- し**
- しきい値、トラフィック レベル 19-2
 - 時刻
 - NTP およびシステム クロックを参照
 - システム クロック
 - NTP も参照
 - 概要 6-1
 - 設定
 - 手動 6-11
 - タイム ゾーン 6-12
 - 夏時間 6-13
 - 日時の表示 6-12
 - システム プロンプト、デフォルト設定 6-15
 - システム メッセージ ロギング
 - level キーワード、説明 25-10
 - Syslog 機能 1-7
 - UNIX Syslog サーバ
 - サポートされているファシリティ 25-14
 - デーモンの設定 25-12
 - ロギング ファシリティの設定 25-13
 - イネーブル化 25-5
 - エラー メッセージの重大度の定義 25-9
 - 概要 25-2
 - シーケンス番号、イネーブル化およびディセーブル化 25-8
 - 設定の表示 25-14
 - タイム スタンプ、イネーブル化およびディセーブル化 25-8
 - ディセーブル化 25-4
 - デフォルト設定 25-4
 - 表示宛先デバイスの設定 25-5
 - ファシリティ キーワード、説明 25-14
 - メッセージフォーマット 25-3
 - メッセージの制限 25-10
 - ログ メッセージの同期化 25-6
 - システム リソースの最適化 7-2
 - システム名
 - DNS も参照
 - 手動設定 6-15
 - デフォルト設定 6-15
 - 実行コンフィギュレーション、保存 3-12
 - 自動検出
 - CDP も参照
 - 考慮事項
 - CDP 非対応デバイス 5-5
 - 新しいスイッチ 5-8
 - 管理 VLAN 5-7
 - クラスタ非対応デバイス 5-5
 - 異なる VLAN 5-6
 - 接続性 5-4
 - 非候補デバイスより先 5-7

- スイッチ クラスタ 5-4
 - 自動検知、ポート速度 1-2
 - 自動設定 3-4
 - 自動ネゴシエーション
 - インターフェイス設定時の注意事項 10-15
 - デュプレックス モード 1-2
 - 不一致 29-13
 - 自動復旧、クラスタ 5-8
 - HSRP も参照
 - 重大度、システム メッセージの定義 25-9
 - 集約ポート
 - EtherChannel を参照
 - 冗長性
 - EtherChannel 28-3
 - STP
 - パス コスト 12-24
 - バックボーン 15-8
 - ポート プライオリティ 12-23
 - 冗長リンクおよび UplinkFast 17-14
 - 初期設定
 - Express Setup 1-1
 - 『Getting Started Guide』およびハードウェア インストレーション ガイドも参照
 - デフォルト値 1-8
 - 侵入検知システム
 - IDS 装置を参照
 - 信頼性のあるタイム ソース、説明 6-2
- す**
- スイッチ ソフトウェアの機能 1-1
 - スイッチ プライオリティ
 - MSTP 16-22
 - STP 15-20
 - スイッチ ポート 10-3
 - スイッチのクラスタ化テクノロジー 5-1
 - クラスタ、スイッチも参照
 - スイッチのコンソール ポート 1-4
 - スタートアップ コンフィギュレーション
 - 起動のデフォルト設定 3-13
 - コンフィギュレーション ファイル
 - 自動ダウンロード 3-13
 - ファイル名の指定 3-13
 - 消去 B-20
 - ブーティング
 - 手動 3-14
 - 特定のイメージ 3-15
 - スタティック MAC アドレッシング 1-6
 - スタティック VLAN メンバーシップ 12-2
 - スタティック アクセス ポート
 - VLAN への割り当て 12-12
 - 定義 10-3, 12-3
 - スタティック アドレス
 - アドレスを参照
 - スタンバイ グループ、クラスタ
 - クラスタ スタンバイ グループと HSRP を参照
 - スタンバイ コマンド スイッチ
 - 仮想 IP アドレス 5-9
 - クラスタ スタンバイ グループと HSRP も参照 5-2
 - 考慮事項 5-10
 - 設定
 - 定義 5-2
 - プライオリティ 5-9
 - 要件 5-3
 - スティッキー ラーニング 19-9
 - ストーム制御
 - サポート 1-3
 - しきい値 19-2
 - 設定 19-3
 - 説明 19-2
 - ディセーブル化 19-5
 - 表示 19-18
 - ストラタム、NTP 6-2
 - スヌーピング、IGMP 18-2
 - スパニングツリー プロトコル
 - STP を参照
 - スパニングツリーおよびネイティブ VLAN 12-17
- せ**
- 成功応答、VMPS 12-26
 - セキュア HTTP クライアント
 - 設定 8-43
 - 表示 8-44
 - セキュア HTTP サーバ 8-38
 - 設定 8-42
 - 表示 8-44
 - セキュア MAC アドレス
 - 最大数 19-9
 - 削除 19-16
 - タイプ 19-9

- セキュア ポート、設定 19-8
 - セキュリティ機能 1-6
 - セキュリティ、ポート 19-8
 - 設計例、ネットワーク 1-10
 - 接続障害 29-15, 29-17, 29-19
 - 接続、安全なリモート 8-33
 - 設定の変更、ロギング 25-11
 - 設定の矛盾、メンバー スイッチとの接続の回復 29-13
 - 設定、保存 3-12
 - セットアッププログラム
 - 故障したコマンド スイッチの交換 29-9, 29-11
- そ**
- 送信元 IP アドレスベース転送、EtherChannel 28-7
 - 送信元 MAC アドレス転送、EtherChannel 28-7
 - 送信元 / 宛先 IP アドレスベース転送、EtherChannel 28-8
 - 送信元 / 宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel 28-7
 - 即時脱退、IGMP 18-5
 - ソフトウェア イメージ
 - tar ファイル形式、説明 B-22
 - 回復手順 29-2
 - ダウンロードおよびアップロードも参照
 - フラッシュ内の場所 B-21
 - リロードのスケジュール設定 3-17
 - ソフトウェア イメージのアップグレード
 - ダウンロードを参照
 - ソフトウェア障害、XMODEM による回復手順 29-2
- た**
- 対象読者 xxv
 - ダイナミック VLAN メンバーシップの再確認 12-29
 - ダイナミック アドレス
 - アドレスを参照
 - ダイナミック ポート VLAN メンバーシップ
 - 再確認 12-29, 12-30
 - 接続のタイプ 12-29
 - 説明 12-27
 - トラブルシューティング 12-31
 - ダイナミックアクセス ポート
 - 設定 12-29
 - 定義 10-3
 - 特性 12-4
 - タイムゾーン 6-12
 - ダウンロード
 - イメージファイル
 - CMS の使用 1-2
 - FTP の使用 B-28
 - HTTP の使用 1-2, B-21
 - RCP の使用 B-32
 - TFTP の使用 B-24
 - 準備 B-23, B-27, B-31
 - デバイス マネージャまたは Network Assistant を使用 B-21
 - 古いイメージの削除 B-25
 - 目的 B-21
 - コンフィギュレーション ファイル
 - FTP の使用 B-14
 - RCP の使用 B-18
 - TFTP の使用 B-12
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - 脱退タイマーの設定、IGMP 18-6
 - 端末回線、パスワードの設定 8-6
- ち**
- 注意、説明 xxvi
 - 注、説明 xxvi
- つ**
- ツイストペア イーサネット、単一方向リンクの検出 22-2
- て**
- ディレクトリ
 - 作業ディレクトリの表示 B-4
 - 作成および削除 B-4
 - 変更 B-4
 - デバイス マネージャ
 - 機能 1-1
 - スイッチのアップグレード B-21
 - 説明 1-2, 1-3
 - 帯域内管理 1-4
 - 要件 xxvii
 - デバイス検出プロトコル 20-2, 21-2

- デバッグ
 - エラー メッセージ出力のリダイレクト 29-23
 - コマンドの使用方法 29-22
 - システム全体診断のイネーブル化 29-23
 - 特定機能に関するイネーブル化 29-22
- デフォルト ゲートウェイ 3-11
- デフォルト設定
 - CDP 20-3
 - DNS 6-16
 - EtherChannel 28-9
 - IEEE 802.1x 9-14
 - IGMP スヌーピング 18-7
 - IGMP スロットリング 18-20
 - IGMP フィルタリング 18-20
 - LLDP 21-3
 - MAC アドレス テーブル 6-21
 - MSTP 16-15
 - NTP 6-4
 - RADIUS 8-20
 - RMON 24-3
 - RSPAN 23-8
 - SDM テンプレート 7-3
 - SNMP 26-7
 - SPAN 23-8
 - SSL 8-40
 - STP 15-12
 - TACACS+ 8-13
 - UDLD 22-5
 - VLAN 12-8
 - VLAN、レイヤ 2 イーサネット インターフェイス 12-17
 - VMPS 12-27
 - VTP 13-8
 - イーサネット インターフェイス 10-11
 - オプションのスパニングツリー設定 17-10
 - 音声 VLAN 14-4
 - システム メッセージ ロギング 25-4
 - システム名およびプロンプト 6-15
 - 初期スイッチ情報 3-3
 - パスワードおよび権限レベル 8-2
 - バナー 6-18
 - 標準 QoS 27-10
 - ブーティング 3-13
 - レイヤ 2 インターフェイス 10-11
- デュアルパーパス アップリンク
 - LED 10-4
 - タイプの設定 10-12
 - 定義 10-4
 - リンク選択 10-4
- 転送遅延時間
 - MSTP 16-24
 - STP 15-22
- 転送保留カウント
 - STP を参照
- 転送、ユニキャスト要求 1-4
- テンプレート、SDM 7-2

- と
- 統計情報
 - CDP 20-6
 - IEEE 802.1x 9-28
 - LLDP 21-6
 - LLDP-MED 21-6
 - RMON イーサネット グループ 24-5
 - RMON グループ ヒストリ 24-4
 - SNMP 入出力 26-18
 - VTP 13-17
 - インターフェイス 10-22
- トークンリング VLAN
 - VTP サポート 13-5
 - サポート 12-6
- 特権 EXEC モード 2-2
- ドメイン ネーム システム
 - DNS を参照
- ドメイン名
 - DNS 6-16
 - VTP 13-9
- トラップ
 - MAC アドレス通知の設定 6-22
 - イネーブル化 6-22, 26-12
 - 概要 26-2, 26-5
 - 通知タイプ 26-12
 - 定義 26-4
 - マネージャの設定 26-12
 - トラップドア メカニズム 3-2
- トラフィック
 - フラッドイングのブロッキング 19-7
 - トラフィックの優先処理
 - QoS を参照
 - トラフィックの抑制 19-2

- トラブルシューティング
 - CiscoWorks 26-5
 - debug コマンド 29-22
 - ping の使用 29-15
 - SFP のセキュリティおよび ID 29-14
 - show forward コマンド 29-24
 - traceroute 29-19
 - システム メッセージ ロギング 25-2
 - 障害 (クラッシュ) 情報の表示 29-26
 - 接続障害 29-15, 29-17, 29-19
 - 単一方向リンクの検出 22-1
 - パケット転送の設定 29-24
 - トランキング カプセル化 1-5
 - トランク
 - DTP をサポートしないデバイス 12-16
 - 許可 VLAN リスト 12-19
 - タグなしトラフィック用のネイティブ VLAN 12-22
 - パラレル 12-24
 - 負荷分散
 - STP パス コストの設定 12-24
 - STP ポート プライオリティの使用 12-23
 - プルーニング適格リスト 12-21
 - トランク ポート
 - 設定 12-18
 - 定義 10-3, 12-3
 - トランスペアレント モード、VTP 13-4, 13-13
 - トランスペアレントな DSCP 27-14
- な**
- 夏時間 6-13
- に**
- 認識不能な Type-Length-Value (TLV) のサポート 13-5
 - 認証
 - NTP アソシエーション 6-5
 - RADIUS
 - 鍵 8-21
 - ログイン 8-23
 - TACACS+
 - 鍵 8-13
 - 定義 8-11
 - ログイン 8-14
 - ポートベース認証も参照
 - ローカル モードでの AAA の実装 8-32
- ね**
- ネイティブ VLAN
 - 設定 12-22
 - デフォルト 12-22
 - ネットワーク管理
 - CDP 20-2
 - RMON 24-1
 - SNMP 26-1
 - ネットワークの構成例
 - サーバ集約および Linux サーバクラスター 1-12
 - 中小規模ネットワーク 1-13
 - ネットワーク サービスの提供 1-11
 - ネットワーク パフォーマンスの向上 1-10
 - ネットワークの設計
 - サービス 1-11
 - パフォーマンス 1-10
- は**
- バージョン依存型トランスペアレント モード 13-5
 - バーチャル IP アドレス
 - クラスター スタンバイ グループ 5-9
 - コマンド スイッチ 5-9
 - パケットの変更、QoS 27-9
 - パス コスト
 - MSTP 16-21
 - STP 15-19
 - パスワード
 - VTP ドメイン 13-10
 - 暗号化 8-3
 - 回復 29-4
 - 回復のディセーブル化 8-5
 - 概要 8-1
 - クラスター 5-12
 - セキュリティ用 1-6
 - 設定
 - Telnet 8-6
 - イネーブル 8-3
 - イネーブル シークレット 8-3
 - ユーザ名 8-7
 - デフォルト設定 8-2
 - パスワードの暗号化 8-3

- バナー
 - 設定
 - MoTD ログイン 6-18
 - ログイン 6-19
 - デフォルト設定 6-18
 - 表示の時期 6-18
 - バナーを使用してユーザにメッセージ 6-18
 - パフォーマンス向上機能 1-2
 - パフォーマンス、ネットワークの設計 1-10
 - 範囲
 - インターフェイス 10-7
 - マクロ 10-9
- ひ
- 光ファイバ、単一方向リンクの検出 22-2
- ヒストリ
 - コマンドの呼び出し 2-7
 - 説明 2-7
 - ディセーブル化 2-8
 - バッファサイズの変更 2-7
- ヒストリ テーブル、Syslog メッセージの重大度および数 25-10
- 非トランッキング モード 12-16
- 表記法 xxvi
 - コマンド xxvi
 - 書体 xxvi
 - マニュアル xxvi
 - 例 xxvi
- 標準範囲 VLAN 12-5
 - コンフィギュレーション モード 12-7
 - 設定 12-5
 - 設定時の注意事項 12-6
 - 定義 12-1
- ふ
- ファイル
 - crashinfo、説明 29-26
 - tar
 - イメージファイル形式 B-22
 - 作成 B-6
 - 抽出 B-7
 - 内容表示 B-7
 - 拡張 crashinfo
 - 説明 29-26
 - 保存場所 29-26
 - 基本 crashinfo
 - 説明 29-26
 - 保存場所 29-26
 - コピー B-5
 - 削除 B-5
 - 内容表示 B-8
 - ファイル システム
 - 使用可能なファイル システムの表示 B-2
 - デフォルトの設定 B-3
 - ネットワーク ファイル システム名 B-5
 - ファイル情報の表示 B-3
 - ローカル ファイル システム名 B-2
 - 不一致、自動ネゴシエーション 29-13
 - フィルタリング
 - show および more コマンドの出力 2-11
 - フィルタリング、show および more コマンド出力 2-11
 - ブーティング
 - 起動プロセス 3-2
 - 手動 3-14
 - 特定のイメージ 3-15
 - ブート ロード、機能 3-2
 - ブート ロード
 - アクセス方法 3-15
 - 環境変数 3-15
 - 説明 3-2
 - トラップド ア メカニズム 3-2
 - プロンプト 3-15
 - 不正アクセスの防止 8-1
 - 物理ポート 10-3
 - プライベート VLAN エッジ ポート
 - 保護ポートを参照
 - フラッシュ デバイス、数 B-2
 - フラッディング トラフィック、ブロッキング 19-7
 - ブルーニング適格リスト
 - VLAN 13-16
 - VTP プルーニング 13-5
 - 変更 12-21
 - ブルーニング、VTP
 - イネーブル化
 - VTP ドメイン 13-15
 - ポート上 12-21
 - 概要 13-5
 - ディセーブル化
 - VTP ドメイン 13-16

- ポート上 12-21
- 例 13-6
- フロー制御
 - 設定 10-17
 - 説明 10-16
- フローチャート
 - QoS 出力のキューイングおよびスケジューリング 27-8
 - QoS 入力 of キューイングおよびスケジューリング 27-6
- ブロードキャスト ストーム 19-2
- ブロードキャスト ストーム制御コマンド 19-4
- ブロッキング パケット 19-7

- へ
- ヘルプ、コマンドライン 2-4
- 編集機能
 - イネーブル化およびディセーブル化 2-8
 - 画面幅よりも長いコマンドライン 2-10
 - 使用するキーストローク 2-9

- ほ
- ポート
 - VLAN への割り当て 12-12
 - アクセス 10-3
 - スイッチ 10-3
 - スタティック アクセス 12-3, 12-12
 - セキュア 19-8
 - ダイナミックアクセス 12-4
 - トランク 12-3, 12-16
 - ブロッキング 19-7
 - 保護 19-6
 - 目的 10-4
- ポート セキュリティ
 - 違反 19-9
 - エージング 19-16
 - スティッキー ラーニング 19-9
 - 設定 19-12
 - 説明 19-8
 - 他の機能 19-11
 - デフォルト設定 19-10
 - トランク ポート 19-13
 - 表示 19-18
- ポート チャンネル
 - EtherChannel を参照
- ポート プライオリティ
 - MSTP 16-20
 - STP 15-18
- ポート ブロッキング 1-3, 19-7
- ポート メンバーシップ モード、VLAN 12-3
- ポートシャットダウン応答、VMPS 12-26
- ポート集約プロトコル
 - EtherChannel を参照
- ポート信頼状態
 - QoS ドメイン内 27-12
 - サポート 1-7
 - 分類オプション 27-4
- ポートベース認証
 - EAPOL-Start フレーム 9-5
 - EAP-Request/Identity フレーム 9-5
 - EAP-Response/Identity フレーム 9-5
 - VLAN への割り当て
 - AAA 許可 9-17
 - 設定作業 9-10
 - 説明 9-9
 - 特性 9-9
 - アカウントティング 9-8
 - 音声 VLAN
 - PVID 9-11
 - VVID 9-11
 - 説明 9-11
 - 開始およびメッセージ交換 9-5
 - カプセル化 9-3
 - 旧版のリリースからのアップグレード 9-17
 - クライアント、定義 9-2
 - ゲスト VLAN
 - 設定時の注意事項 9-11
 - 説明 9-10
 - スイッチ
 - RADIUS クライアント 9-3
 - プロキシとして 9-3
- 設定
 - IEEE 802.1x 認証 9-17
 - RADIUS サーバ 9-19
 - クライアントの手動での再認証 9-21
 - ゲスト VLAN 9-25
 - スイッチからクライアントへのフレーム再送信回数 9-23
 - スイッチからクライアントへのフレーム再送信時間 9-22

- スイッチ上の RADIUS サーバ パラメータ 9-18
 - 待機時間 9-21
 - 定期的な再認証 9-20
 - ホスト モード 9-20
 - 設定時の注意事項 9-15
 - 説明 9-2
 - デバイスの役割 9-2
 - デフォルト設定 9-14
 - デフォルト値へのリセット 9-27
 - 統計情報の表示 9-28
 - 認証サーバ
 - RADIUS サーバ 9-3
 - 定義 9-3
 - 方式リスト 9-17
 - ポート
 - 音声 VLAN 9-11
 - 許可および無許可 9-6
 - 許可ステートおよび dot1x port-control コマンド 9-7
 - ポートセキュリティ
 - 音声 VLAN 9-12
 - 説明 9-12
 - 相互作用 9-12
 - マルチホストモード 9-7
 - ホスト モード 9-7
 - マルチホストモード、説明 9-7
 - 保護ポート 1-6, 19-6
 - ホスト名、クラスタ 5-12
 - ホスト、ダイナミック ポート上の制限 12-31
- ま**
- マクロ
 - SmartPort マクロを参照
 - マニュアル
 - 対象読者 xxv
 - 目的 xxv
 - マルチキャストグループ
 - 加入 18-3
 - 静的加入 18-10
 - 即時脱退 18-5
 - 脱退 18-5
 - マルチキャストストーム 19-2
 - マルチキャストストーム制御コマンド 19-4
 - マルチキャストルータ インターフェイス、モニタ 18-17
 - マルチキャストルータ ポート、追加 18-9
- み**
- ミラーリング、トラフィック解析 23-2
- む**
- 無許可ポート、IEEE 802.1x 9-6
 - 矛盾、設定 29-13
- め**
- メンバー スイッチ
 - 管理 5-14
 - 候補スイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、およびスタンバイ コマンド スイッチも参照
 - 自動検出 5-4
 - 接続の回復 29-13
 - 定義 5-2
 - パスワード 5-11
 - 要件 5-3
 - メンバーシップ モード、VLAN ポート 12-3
- も**
- モジュール番号 10-6
 - モニタ
 - CDP 20-6
 - IGMP
 - スヌープ ping 18-17
 - フィルタ 18-24
 - SFP ステータス 10-22, 29-14
 - VLAN 12-15
 - VMPS 12-31
 - VTP 13-17
 - インターフェイス 10-22
 - 機能 1-7
 - スイッチ間を流れるトラフィック 24-2
 - 速度およびデュプレックス モード 10-15
 - 単一方向リンクのケーブル 22-2
 - トラフィックの抑制 19-18
 - プローブによるネットワーク トラフィック解析 23-2
 - ポート
 - ブロッキング 19-18

- 保護 19-18
 - マルチキャストルータ インターフェイス 18-17
- ゆ
- ユーザ EXEC モード 2-2
- ユーザ名ベースの認証 8-7
- ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング 1-4
 - CPU パケット 6-25
 - スタティック アドレスの追加 6-25
 - 設定時の注意事項 6-25
 - 説明 6-25
 - ブロードキャスト MAC アドレス 6-25
 - マルチキャスト アドレス 6-25
 - ルータ MAC アドレス 6-25
- ユニキャスト ストーム 19-2
- ユニキャスト ストーム制御コマンド 19-4
- ユニキャスト トラフィック、ブロッキング 19-7
- よ
- 要件
 - Network Assistant xxvii
 - クラスタ xxvii
 - デバイス マネージャ xxvii
- ら
- ライン コンフィギュレーション モード 2-3
- り
- リロードのスケジュール 3-17
- リロード、ソフトウェア 3-17
- リンクの失敗、単一方向の～の検出 16-8
- リンク レイヤ検出プロトコル
 - CDP を参照
- リンク、単一方向 22-2
- る
- ルート ガード
 - イネーブル化 17-16
 - サポート 1-5
- 説明 17-8
- ルート スイッチ
 - MSTP 16-18
 - STP 15-15
- ループ ガード
 - イネーブル化 17-17
 - サポート 1-5
 - 説明 17-9
- れ
- 例
 - ネットワークの構成 1-10
 - 表記法 xxvi
- レイヤ 2 traceroute
 - 1 ポートに複数のデバイス 29-18
 - ARP 29-17
 - CDP 29-17
 - IP アドレスおよびサブネット 29-17
 - MAC アドレスと VLAN 29-17
 - 使用時の注意事項 29-17
 - 説明 29-17
 - ブロードキャスト トラフィック 29-17
 - マルチキャスト トラフィック 29-17
 - ユニキャスト トラフィック 29-17
- レイヤ 2 インターフェイス、デフォルト設定 10-11
- レイヤ 2 フレーム、CoS での分類 27-2
- レポートの抑制、IGMP
 - 説明 18-6
 - ディセーブル化 18-16
- ろ
- ローカル SPAN 23-2
- ログ メッセージ
 - システム メッセージ ロギングを参照
- ログ メッセージのシーケンス番号 25-8
- ログ メッセージのタイム スタンプ 25-8
- ログイン バナー 6-18
- ログイン 認証
 - RADIUS 8-23
 - TACACS+ 8-14